

平成 30 年度 県立海洋科学高等学校 不祥事ゼロプログラム検証結果

課題と目標	実施結果と達成状況	評価
(1) <b>公務員としての基本に立ち返った行動の再徹底</b> 教育公務員であるとの自覚を深め、生徒、保護者及び社会から信頼される行動をとる。	4月に神奈川県職員行動指針を再確認させ、教育公務員としての自覚を促した。その後も、折ある毎に管理職から指示伝達や意識啓発が行われた。12月には交通事故や飲酒運転防止に係る職場研修会を実施し、意識啓発に努めた。	A
(2) <b>セクハラ・わいせつ行為の防止</b> 教育公務員として自覚を深め、人権感覚の醸成に努め、セクハラ・わいせつ行為の根絶を図る。	7月にセクハラ・わいせつ行為防止の職場研修会を実施し、点検シートによる自己確認も行った。朝の打合せで、管理職が教職員のわいせつ行為事案の事故例を示し、注意喚起の徹底を図った。	A
(3) <b>体罰・不適切な指導の防止</b> 生徒の人権を尊重し、信頼感が育まれる適切な生徒対応に努め、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	10月に体罰防止や人権に配慮した指導について職場研修会を実施し、点検シートでも自己確認を行った。また、職員会議や朝の打合せ等で、たびたび管理職から注意喚起をしたが、体罰・不適切な指導の防止については再度の徹底を図る必要がある。	B
(4) <b>成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止</b> 調査書や通知表の作成及び取扱いに、成績処理に関するミスを防止する。	8月に職場研修会を実施した。教務手帳の適切な保管や試験問題の校外持ち出し禁止などは職員の意識に定着したが、調査書作成において事故につながりかねない事例もあり、チェック体制の見直しを行なった。	B
(5) <b>個人情報等の管理、情報セキュリティ対策</b> 個人情報等の不適切な取扱い及び流出を未然に防止し、情報セキュリティ対策の徹底を図る。	11月に個人情報の取扱いについて職場研修会を実施し、個人情報の取得や保管について意識啓発を行った。日常的に管理職からも啓発を重ね、職員の意識への定着が高まった。	A
(6) <b>会計事務等の適正執行</b> 会計事務処理(公費・私費・現金管理)に関する事故の発生を未然に防止する。備品の適切な管理を行う。	6月に私費会計の基本を具体的に理解するための職場研修会を行い、成果をあげた。また9月に再度、点検シートを活用した研修会を実施して理解を深めさせ、事故防止の徹底を図った。	A
(7) <b>入学者選抜業務における事故防止</b> 入学者選抜業務における事故を未然に防止する。	職員会議では要項の説明を詳細に行い、職員の業務概要の把握を徹底した。さらに入選業務における事故防止の具体事例を周知徹底した。また、採点研修や面接研修を複数回を行い、採点ミスや面接評価のばらつきが出ないように徹底して事故防止に努めた。	A
(8) <b>実習船による事故防止</b> 湘南丸、わかしおの安全運航に務め、実習を安全で円滑に実施し、関係機関・地域等との相互協力の上で事故を防止する。	実習船の施設不備による指導計画の一部変更はあったものの、安全な運航を果たし、水産海洋基礎実習、総合実習、漁業等、関係科目の目標をほぼ達成した。	B
(9) <b>その他</b>	交通安全の研修会を行い、安全意識の徹底を図ったが、交通事故・違反等に対する職員の意識啓発には再度の徹底を図る必要がある。	B

\*平成30年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成31年度に取り組むべき課題(校長意見)

会計事務処理の適正執行に向けた取り組みが成果をあげた。次年度は体罰・不適切な指導の防止、進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止について、重点的に取り組みたい。